

NEXTAGE 100



We realize your dreams.

# 第68期（2026年度） 当社における安全衛生の取り組み

株式会社タカギセイコー

<https://www.takagi-seiko.co.jp/>

[東証スタンダード市場 証券コード：4242]

## 安全衛生方針

安全衛生に対する高い意識を育み、働きやすい職場環境づくりを推進する

## 安全衛生目標

1. 労働災害 0件
2. 健康診断 受診率100% 二次検診 受診率100%
3. 特定保健指導 受診率 50%以上

## スローガン

決意を言葉に、言葉を行動に  
決意を紡いで築く、ゼロ災の未来

# 1.労働災害ゼロへの活動

## (1) 安全の自分事化 ～安全のマインドセット～

### ①「私の安全宣言」の表明：当事者としての決意と行動

#### ■目的：

曖昧な「気をつける」という意識を、具体的な行動として言語化し、未来を築く当事者としての自覚に基づいた「自分事の安全」を確立する。

ステップ	アクション	具体的な内容
①言語化（明文化）	決意を言葉にする	当事者としての自覚を込め、具体的な行動指針を紙に書き、データ化する
②実行（行動）	即、行動を開始する	宣言した行動をその瞬間から即座に開始する
③共有（可視化）	仲間に示す	部署ごとに一覧で掲示し、安全衛生HPにも掲載互いの決意を知り、紡ぎ合う
④約束（宣言）	声に出す	朝礼やミーティングで輪番で発表言葉に出すことで、自分と仲間への「公約」とする
⑤評価（省察）	自分を磨く	能力行動評価の面談時に、宣言に対する実行度を振り返り、次なる成長へ繋げる

全社員で実施

決意を紡いで築く、ゼロ災の未来

# 1.労働災害ゼロへの活動

## (1) 安全の自分事化 ～安全のマインドセット～

### ①「私の安全宣言」の表明：当事者としての決意と行動







第68期 安全衛生重点施策スローガン  
「決意を言葉に、言葉を行動に  
決意を紡いで築く、ゼロ災の未来」

## 「私の安全宣言」

～ ゼロ災への5ステップ ～

- 1** 【言語化】決意を明文化する  
「曖昧な意識を、具体的な言葉に変える」  
未来を築く当事者としての自覚を込め、自らの安全行動を「私の安全宣言」として書き起こします。
- 2** 【実行】即座に実行へ移す  
「書いた瞬間から、当事者としての行動を」  
言語化した決意を、その瞬間から即座に実践。過信を排し、自ら律したルールを徹底します。
- 3** 【共有】仲間に可視化する  
「互いの決意を知り、紡ぎ合う」  
部署内での掲示やHP掲載を通じて全員の宣言を共有。チーム全体で安全レベルを底上げします。
- 4** 【約束】声に出して誓う  
「言葉にすることで、公約とする」  
朝礼やミーティングで自らの宣言を輪番で発表。声に出すことで自分と仲間への「約束」を深めます。
- 5** 【省察】深く内省し、評価する  
「経験を振り返り、次なる成長へ」  
行動評価時に自らの歩みを振り返ります。できたことを認め、課題を「省察」して次期へ繋げます。

### 〇〇工場 私の安全宣言

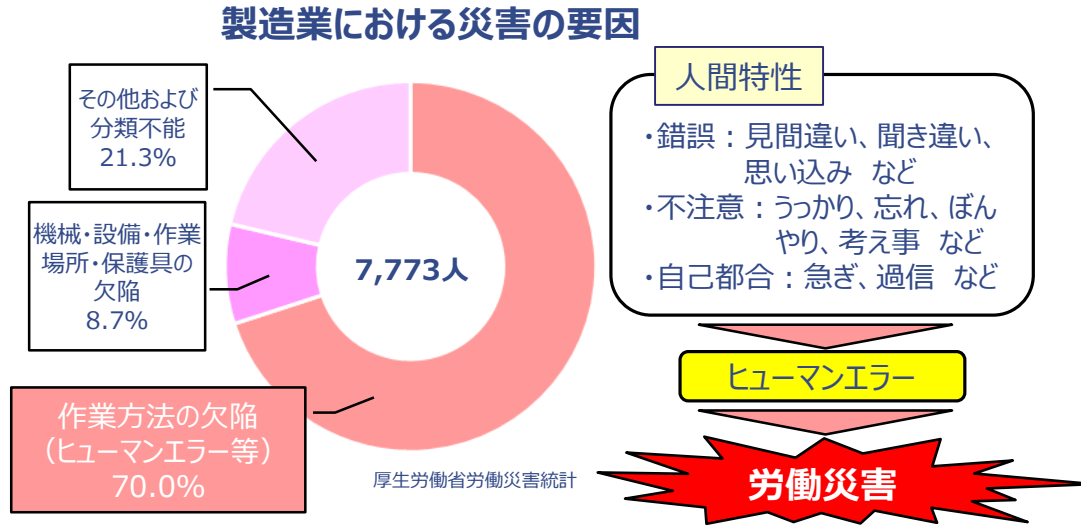
部署	氏名	写真	私の安全宣言
〇〇課	〇〇 〇〇		「指差呼称で確認する」 私は、指差呼称を形だけにせず、対象物をしっかり指し、自分の耳に届く声で唱えることを徹底します
〇〇課	〇〇 〇〇		「ながら行動をしない」 私は、一つの行動に集中するため、歩きスマホ等の、ながら行動はしません
□□課	□□ □□		「手順書通りに作業します」 私は、作業前に必ず作業手順書を再確認し、手順通りに作業します
□□課	□□ □□		「異常発生時には報告・連絡・相談をします」 私は、機械に異音や違和感を感じた際、独断で判断せず即座に『報・連・相談』を行います
◇◇課	◇◇ ◇◇		「保護具を正しく着用する」 私は、保護メガネと保護手袋を作業の大小に関わらず常時着用します
◇◇課	◇◇ ◇◇		「朝、元気に挨拶をします！」 私は、お互いの体調や心の変化にいち早く気付けるよう、朝一番に顔を見て「おはようございます！」と挨拶します

# 1.労働災害ゼロへの活動

## (1) 安全の自分事化 ～安全のマインドセット～

### ②指差し確認の実施：安全行動とヒューマンエラーの防止

#### ■労働災害の主な要因

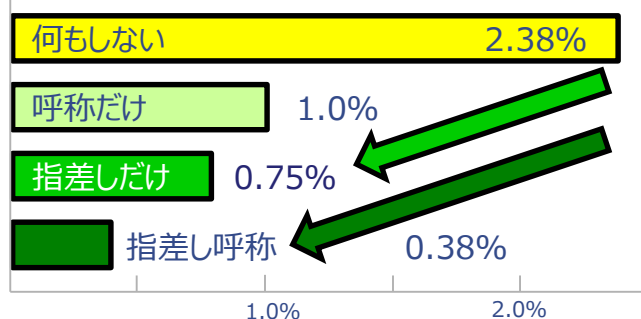


#### ■指差し呼称の有効性 (大脳性理化学的)



#### ■指差し呼称の効果

ボタン押し誤り率



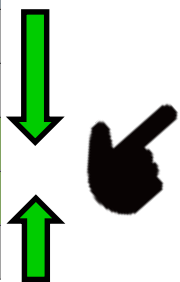
1/3以下に  
1/6以下に

鉄道総合研究所実験結果

#### ■指差し呼称による意識レベルのギアチェンジ

意識レベルの5段階

フェーズ	意識の状態	注意の作用	生理的状态	信頼性
0	無意識、失神	ゼロ	睡眠	ゼロ
I	意識ボケ	不注意	過労、眠気	0.9以下
II	ノーマル	心の内方へ	定常作業時	0.99～0.99999
III	クリアー	前向き	積極活動時	0.999999以上
IV	過緊張	1点に固執	感情パニック	0.9以下



# 1.労働災害ゼロへの活動

## (2) 安全コミュニケーションの強化 ～「報告・連絡・相談」～

### ①TBM（ツールボックスミーティング）の活用：現場での意思疎通

#### ■TBMとは？

米国の作業現場で始まった活動の呼び名で、作業前に皆でTB（ツールボックス）を囲んで手順の確認やリスク、安全対策を話し合う短時間のミーティングのこと  
⇒現場で実施する朝礼、作業前ミーティング

手順	項目	内容
1	導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・健康確認（健康KY）</li> <li>・報告・連絡・相談</li> <li>・私の安全宣言</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>=全員で元気よく</li> <li>=姿勢、動作、顔色、目つき、口数の目視 + 問いかけ</li> <li>=全員で変化点を共有</li> <li>=輪番制で「私の安全宣言」を発表</li> </ul>
2	作業指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5W1Hで伝達               <ul style="list-style-type: none"> <li>Why（なぜ）</li> <li>When（いつ）</li> <li>Where（どこで）</li> <li>What（何を）</li> <li>Who（誰が）</li> <li>How（どのように）</li> </ul> </li> <li>・復唱</li> <li>・質疑応答</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>=作業の目的</li> <li>=開始時刻、予定の終了時刻</li> <li>=作業の場所や範囲</li> <li>=作業の課題</li> <li>=人員配置と分担</li> <li>=作業の準備、方法および手順、必要な保護具</li> <li>=正しく伝達されたか、理解したか確認</li> </ul>
3	当日作業KY活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険の抽出</li> <li>・対策の検討</li> <li>・指差し呼称項目の設定</li> <li>・作業現場での実践</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>=想定される労働災害のプロセスを、具体的に表現する</li> <li>=対象となる場面を想定し、具体的な行動対策を決定する</li> <li>=行動対策を「（対象）、（状態）、ヨシ！」という形で表現する</li> <li>=行動対象を作業現場で実践し、指差し呼称で確認する</li> </ul>

5分～10分

※新規作業指示などで時間を要する場合は、別途打合せ

# 1.労働災害ゼロへの活動

(2) 安全コミュニケーションの強化 ～「報告・連絡・相談」～

②変化点・異常時における即時報告の徹底：独断による不安全行動の排除

## 独断は、重大事故、故障の入り口

「即時、  
止める

呼ぶ

待つ」



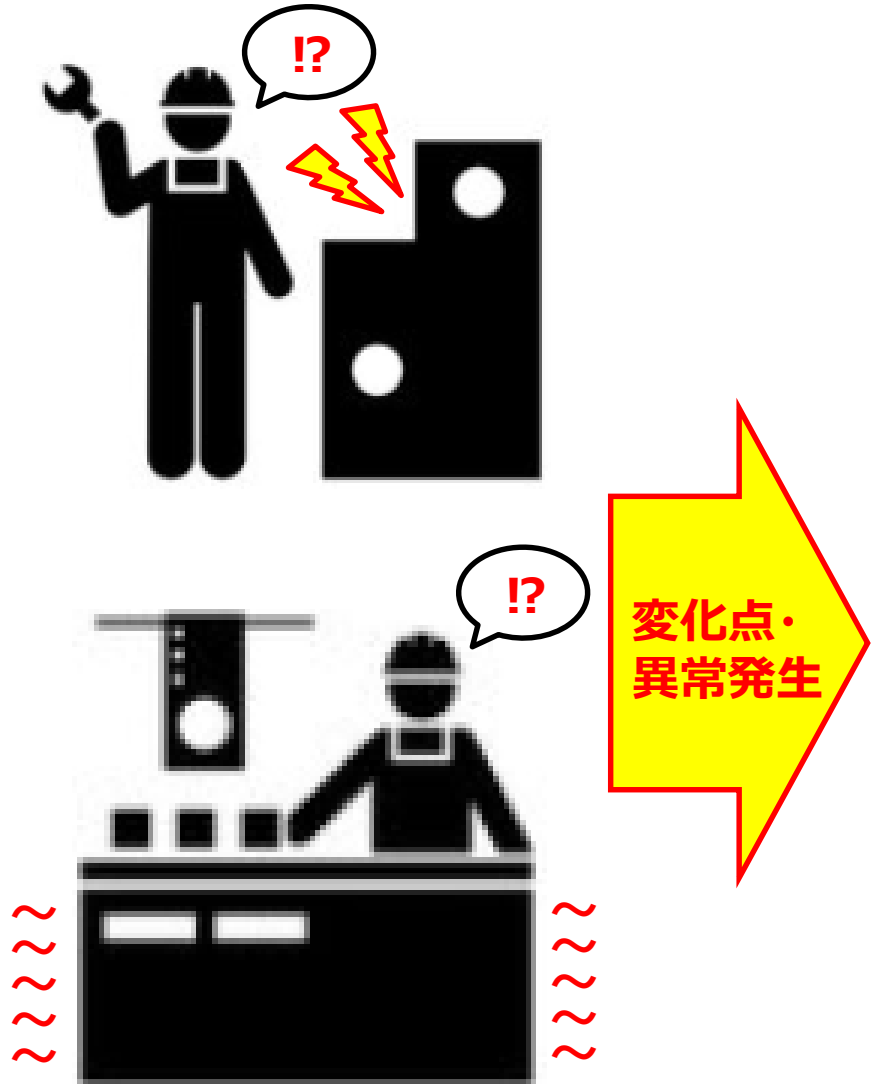
機械を止める、  
作業を止める



職制を呼んで  
ありのまま報告する



職制の指示を受ける



# 1.労働災害ゼロへの活動

## (2) 安全コミュニケーションの強化 ～「報告・連絡・相談」～

### ③作業未熟練者に対する教育と理解度の確認：次世代の育成

#### ■安全作業 自己診断表

入社[1～4週間]用		安全作業 自己診断表	
所属 _____		氏名 _____	
入社日 _____		チェック年月日 _____	
チェック記号【○：できた・問題なし】【△：あまりできていない・やや問題あり】【×：できていない・問題あり】（該当なし：-）			
	チェック内容	自己チェック ○△×を記入	面談者チェック ○△×を記入
1	作業服・保護具は、ルール通りに正しく着用していますか？		
2	決められた作業手順を覚え、その通りに作業していますか？		
3	不安点や無理な姿勢・動作で、作業していませんか？		
4	動いている機械や、安全カバーの隙間から手を入れた事はありませんか？		
5	機械や工具、扱う部材等の危険性や有害性を理解しましたか？		
6	作業や作業場所の、危険なポイントや禁止事項は把握しましたか？		
7	トラブル時の3原則（停める・呼ぶ・待つ）は覚えられましたか？		
8	スピードについて行けない、不慣れで出来ない作業はありませんか？		
9	道具や製品等は決められた位置に置いていますか？（仮置きのまま放置していないか）		
10	仕事中に分からない事があった時、勤務先の誰に聞か分かりますか？		
11	仕事中にケガをした時、勤務先及び〇〇（派遣元）への連絡方法は知っていますか？		
12	通勤中に事故やケガをした時、勤務先及び〇〇（派遣元）への連絡方法は知っていますか？		

期間：入社・異動～3年間

回数・サイクル：成長、習熟度合いに応じて上長が判断

13 仕事において、困ったことや悩んでいることがあれば記入して下さい。

14 仕事において、“ヒヤッ”とした事や“ハッ”とした事など、危険を感じた事があれば記入して下さい。

≪管理担当者 備考欄≫ チェックの答えが△・×の場合、具体的な内容と理由を確認し、対応状況を記入して下さい。

承認	確認	本人

記入だけでなく、面談にて理解内容の確認と、困りごと等を聞き、アドバイスをする

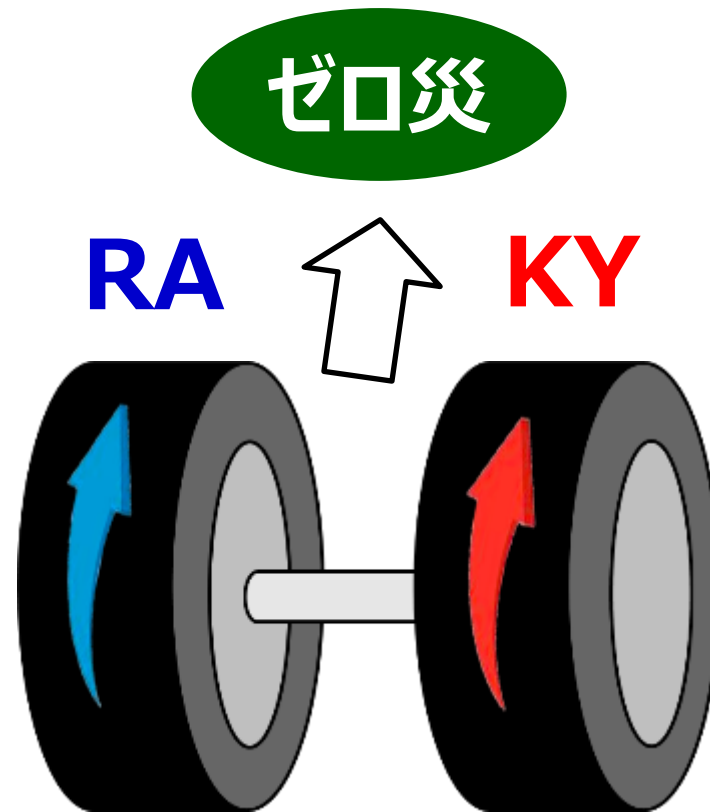
# 1.労働災害ゼロへの活動

- (3) リスクマネジメントの強化 ～確かな視点と事例共有～  
 ① RAとKYの両輪活動：予測・予知精度の向上

## リスクアセスメント

“管理者”が労働者の安全と健康を守るために、職場で発生し得る危険や有害要因を特定し、それらがもたらすリスクを評価し、適切な対策を講じる  
 ハード対策

**68期**  
**活動継続**



## 危険予知

“作業者”が日々の作業の中で危険を予測しケガを防ぐ  
 ソフト対策

**68期**  
**活動推進継続**

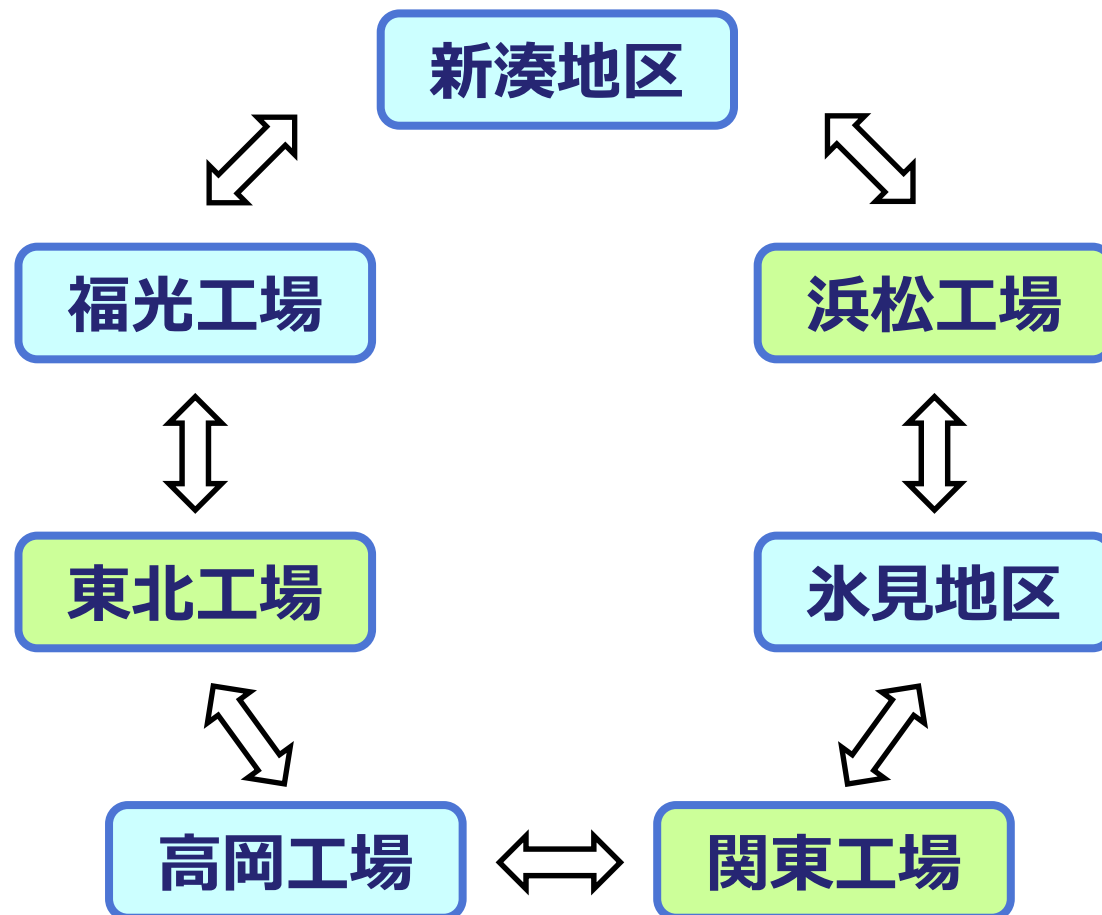
危険予知活動を推進し、両輪を同じ方向、同じ速さで回し、ゼロ災へ前進

# 1.労働災害ゼロへの活動

(3) リスクマネジメントの強化 ～確かな視点と事例共有～

②相互職場巡視：客観的な視点によるリスクと好事例の発見

68期 相互巡視 組み合わせ



9月～11月実施予定

多数、多様、新たな視点での  
「気づき」をもとに、

⇒安全衛生向上の指導・助言

⇒好事例の展開・ブラッシュアップ

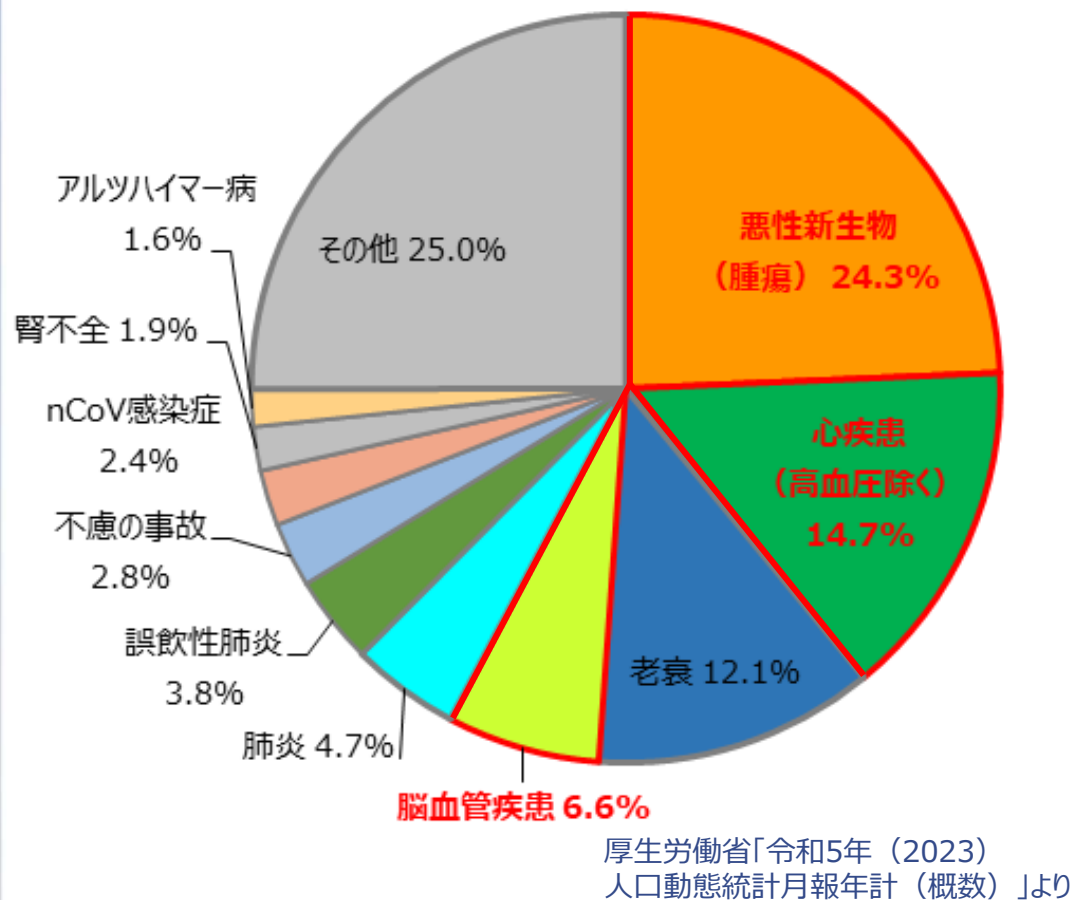
指摘、好事例：他工場の状況調査・展開  
⇒1回の巡視で7倍の効果を

会社全体としての  
安全体制の強化を図る

## 2. 健やかで活力ある、ウェルビーイングな職場づくりの推進

### (1) 二次健診・特定保健指導の早期受診の推進

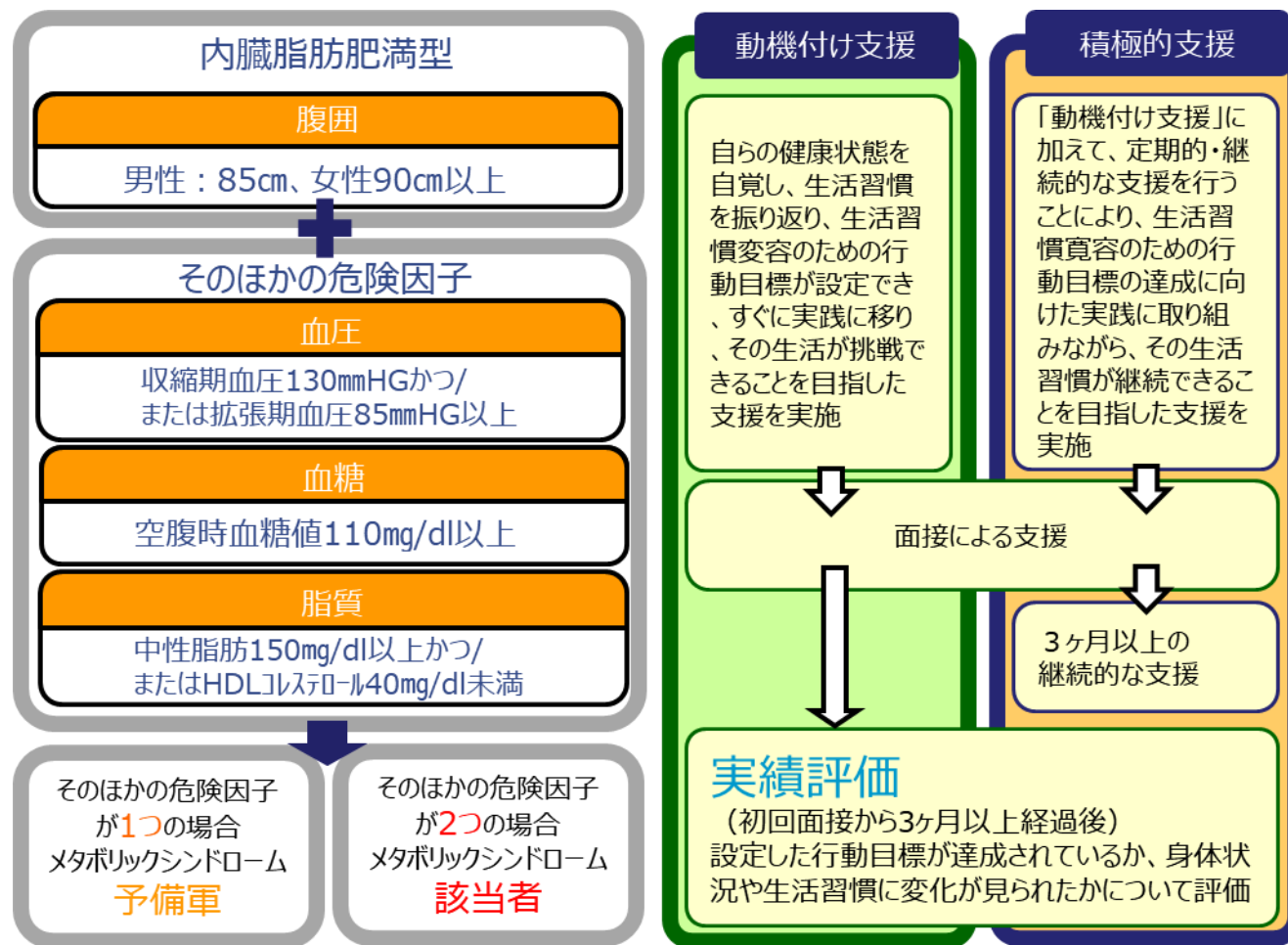
#### ■ 死因別死亡割合（令和5年）



**成人病が半数近くを占める**

⇒二次検診受診で早期発見、早期治療を

#### ■ メタボリックシンドロームの診断基準、支援



職場全体での特定保健指導の受診の推進、支援を！

## 2. 健やかで活力ある、ウェルビーイングな職場づくりの推進

### (2) ストレスチェックの結果を活用し職場環境を向上

#### ■ ストレスチェックの結果を展開

#### 安全衛生委員会



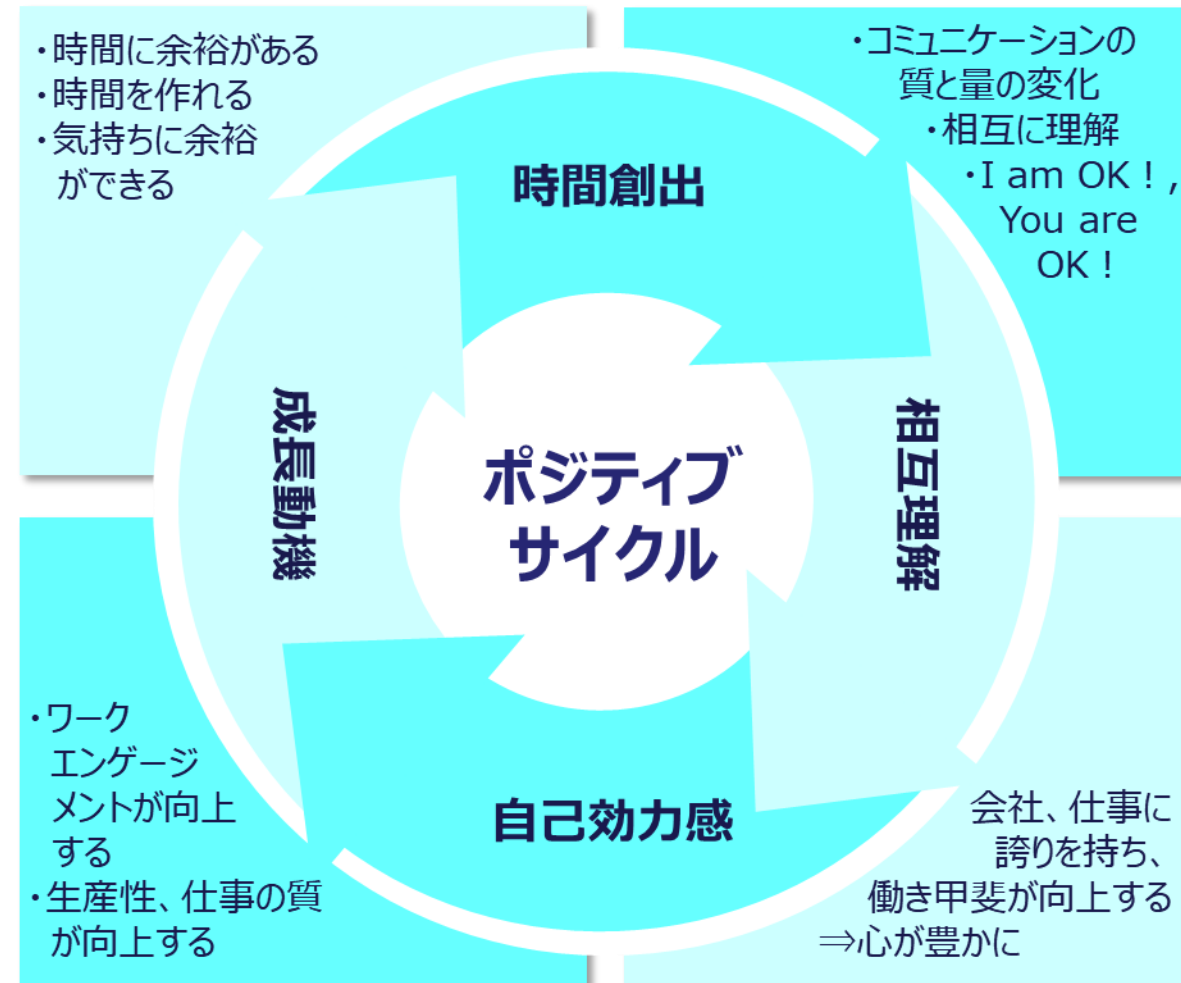
- ・ストレスチェックの結果を共有
- ・良い点、背景を確認
- ・悪い点、原因を確認
- ・改善点、改善策を協議
- ・改善進捗を確認

#### 各部署



- ・ストレスチェックの結果を共有
- ・良い点、悪い点をディスカッション
- ・改善策を共有
- ・改善実施
- ・改善進捗を安全衛生委員会へ報告

#### ■ ポジティブサイクル



ポジティブサイクル：相互理解⇒自己効力感⇒成長動機⇒人的ストレス低減

## 2. 健やかで活力ある、ウェルビーイングな職場づくりの推進

### (3) 多様な価値観に即したコミュニケーションの実践



価値観多様化対応⇒コミュニケーションの質と量の変化⇒ウェルビーイング職場